

「くすりのシリコンバレー TOYAMA」 創造コンソーシアム

企業の皆さまへ

令和7年度 ふるさと納税のご案内

「くすりのシリコンバレー TOYAMA」創造コンソーシアム（富山くすりコンソ）では、**医薬品産業界で活躍する人材の育成やアカデミア研究シーズの実用化のため、**広く皆さまからご寄付を募集しています。

医薬品産業が集積する富山の地～Toyama Pharma Bay～で「富山くすりコンソ」が動き始めて8年目を迎えています。これからの医薬品産業で活躍する優れた人材を育むため「ネクスト・ファーマ・エンジニア養成プログラム」を実施するなど人材育成事業のさらなる強化を図っています。また、大学などのアカデミア研究シーズの実用化に向けて、新しい薬を創り出す“創薬”の取り組みや高品質な医薬品を安定的に製造する“製薬”の取り組みを推進しており、その成果が生まれています。これらの取り組みの着実な進展のために「富山くすりコンソ」への寄付のご支援をよろしくお願いいたします。

＼ 富山くすりコンソが取り組む2つの事業 ＼

人材育成
事業

次世代を担うために

富山県薬業連合会・富山大学・富山県立大学・富山県薬事総合研究開発センターが協力連携して、製薬・創薬を体系的に学べる「ネクスト・バイオ医薬品専門人材育成研修(BCRETにて)ファーマ・エンジニア養成プログラム」を実施。学生向けのみならず、社会人のアップスキリングにも役立つ人材育成事業を展開しています。この教育プログラムにより、医薬品産業の次世代を担う人材育成に取り組んでいます。



全国の学生が富山県内製薬企業で研修

研究開発
事業

患者さんのQOL向上に貢献



試作したミニタブレット(左)と一般的な錠剤

小さなお子さんや高齢者が飲みやすいミニタブレットを開発
直径2～3ミリのお薬「ミニタブレット製剤」は、飲みやすく便利ですが、製造には難しさがあります。富山県薬事総合研究開発センターでは、超精密な金属加工技術を持つ株式会社石金精機(富山市)と協力し、最適な品質のミニタブレットを製造する技術を開発しました。

がん患者さんを対象に心身状態の問診を在宅でも行える観察研究

富山大学附属病院 臨床研究開発推進センターでは、従来は紙で行われていた問診をスマートフォンを用いて在宅でも行える仕組みを構築しました。がん患者さんの利便性向上と、医師など医療スタッフとのより円滑なコミュニケーションの実現を目指しています。

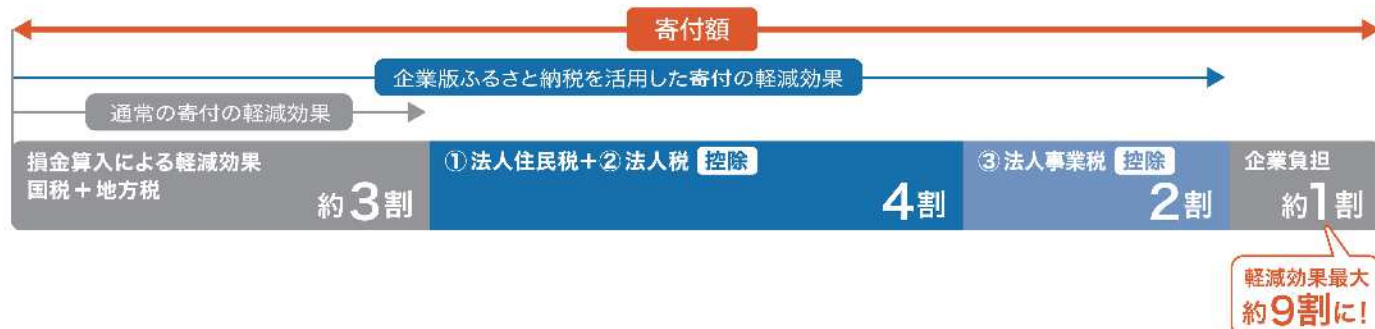


企業版ふるさと納税って？

1 制度の概要

企業版ふるさと納税（地方創生応援税制）は、国が認定した地方公共団体の地方創生プロジェクトに対し企業が寄付を行った場合に、法人関係税から税額控除する仕組みです。

これにより、通常の損金算入による軽減効果（寄付額の約3割）と合わせて、最大で寄付額の約9割が軽減され、実質的な企業の負担は約1割まで圧縮されます。



2 企業にとってのメリット



3 寄付の流れ



※寄付金の払い込みはプロジェクトの実施前でも可能です。

4 制度の留意事項

- (1) 1回当たり10万円以上の寄付が対象となります。
- (2) 寄付を行うことの代償として経済的な利益を受けることは禁止されています。
- (3) 富山県内に本社が所在する企業については、本制度は対象となりません。

関連するSDGsゴール



富山くすりコンソの取組みについてはこちらをご覧ください。



HP



富山くすりコンソ応援寄付金事業に関するお問い合わせ

富山県 厚生部 くすり振興課 くすりコンソーシアム推進係〔富山くすりコンソ運営事務局〕

TEL 076-444-3943 Mail ml-kusuri-toyama@pref.toyama.lg.jp



企業版ふるさと納税制度全般に関するお問い合わせ

富山県県知事政策局企画室人口未来課人口未来担当

TEL 076-444-4069

Mail akikaku@pref.toyama.lg.jp

お問い合わせ
フォーム

